

日本常民文化研究所では、1983年より所員相互の検証・批判を経た研究成果を共有するために年数回、公開研究会「神奈川大学日本常民文化研究所研究会」を開催しています。研究水準の向上を図るため、所員・研究員だけでなく所外の研究者にも発表を依頼し、毎回テーマを新たに設定しています。2017年度は、4回（通算第115回）開催されました。



写真1 第112回 小熊 誠



写真2 第113回 泉水英計



写真3 第114回 安室 知

2017年度 神奈川大学日本常民文化研究所研究会

回	テーマ	講師	日時
第112回	つながりとしての門中 ——沖繩文化の新たな研究視点を通して——	小熊 誠 所員	2017年5月17日(水) 17:30~19:00
第113回	接触領域における公衆衛生 ——米軍占領下沖繩の結核対策を事例に——	泉水英計 所員	2017年6月21日(水) 17:30~19:00
第114回	民俗学史における魚名研究の意義 ——渋沢敬三と柳田国男——	安室 知 所員	2017年7月19日(水) 17:30~19:00
第115回	浙江平湖做社について	畢雪飛 浙江農林大学外国語学院 教授	2018年2月21日(水) 15:00~16:00